

団体名：岩槻ホタルの会
代表者：代表 新井 治
URL :

21A-08

1. 活動が必要とされた状況

旧ホタル観賞会のホタルの幼虫放流地施設は、設置後 16 年になり護岸等の老朽が著しいうえ、脇を流れる排水路の水位が低下し、放流施設に水が流れなくなってしまった。この為ホタルの幼虫の放流が出来なくなってしまい、ホタル観賞会の実施が危ぶまれているという現実直面していた。



(ホタルの幼虫放流施設)

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

①ホタルの幼虫放流施設整備事業（岩槻城址公園）

実施時期 2018年5月27日(日)

旧施設は、素掘りではなく基礎工事が行われており、水位を下げるため、重機にて掘削した。また、擁壁を竹からゴム製に取り換えた。



(水が流入しなくなった)

②ホタル観賞会（岩槻城址公園）

実施時期 2018年7月14日(土)～15日(日)

来場者 1492人(14日800人 15日692人)

参加費 無料

③ホタル観賞会の幟旗制作

40枚製作し、ホタル観賞会のPRに活用した。



(重機使用にて水路掘削)

3. 活動の成果

常時水路に水が流入するようになった。とともに、上陸しやすい擁壁を設置することが出来、観賞会当日は多くのホタルが羽化し乱舞した。

4. 今後に残された課題

(1)放流施設の管理

定期的に施設の損壊状況をパトロールする。

(2)消耗品の取り換え

防護ネットは劣化するので3年に1回取り換える。

(3)実施内容のPR

市民活動広報誌に掲載する。その他あらゆる機会をとらえ広報する。



(水の無い旧放流施設内部)



(完成した放流施設)